

わが国の街路樹 VII

室 長 栗原 正夫
主任研究官 武田 ゆうこ
研 究 官 久保田 小百合*

The Roadside Trees of Japan VII

Head Masao Kurihara
Senior Researcher Yuko Takeda
Researcher Sayuri Kubota*

概要

本資料は、平成 24 年 3 月 31 日現在供用されている道路に植栽されている樹木について、国土交通省各地方整備局、北海道開発局、沖縄総合事務局、地方公共団体、高速道路会社に対し実施した調査結果を基に、樹木の本数、樹種、樹木タイプ別等に集計を行い、全国の街路樹の動向等をまとめたものである。

キーワード：街路樹、樹種、樹木タイプ、統計

Synopsis

This report is about the roadside trees of Japan as of 31 March 2013. The question item was a number and the species of the trees planted in the roadside. The questionnaire survey was conducted for the roads managed by Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, all prefectures, cities, towns and villages, a district road public corporation, and highway companies.

Key Words : Roadside Trees, Tree species, Tree type, Statistics

はじめに

本資料は、全国の道路緑化の現況を把握して道路緑化事業の基礎資料とするために、道路緑化樹木の本数や樹種を調査して集計を行ったものです。

「1. 道路緑化樹木現況調査」では、全国の道路管理者を対象に道路緑化樹木現況調査（平成 23 年度末時点）を実施し、「国土交通省、都道府県、市町村、地方道路公社が管理する道路」と「高速道路会社が管理する道路」について、道路緑化樹木の合計本数、樹種別の本数、樹木タイプ（落葉広葉樹・常緑広葉樹など）別の本数を集計し、その現況を概観しました。

「2. 道路緑化樹木の推移」では、これまでに実施した 6 回の調査（昭和 63 年、平成 4 年、平成 9 年、平成 14 年、平成 19 年、平成 24 年）の結果を用いて、全国の道路緑化樹木の合計本数や樹種別本数を比較し、道路緑化樹木の推移について考察を行いました。

道路緑化の目的は、緑陰や良好な景観の形成、生活環境と自然環境保全、交通安全、防災など多岐に渡ります。そして、地球温暖化問題が深刻となっている現在では、道路緑化樹木にも都市域の CO₂ の吸収源としての役割が期待されています。

本資料が、道路緑化推進の基礎資料として多くの方に利用されることを願っています。

最後になりましたが、本資料を作成するに当たり、資料の提供および調査へのご協力を頂きました国土交通省道路局と各地方整備局、北海道開発局、沖縄総合事務局、全国の都道府県、市町村、地方道路公社、そして東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社、阪神高速道路株式会社、本州四国連絡高速道路株式会社の方々に厚くお礼申し上げます。

平成 26 年 2 月

国土交通省 国土技術政策総合研究所 道路研究部 緑化生態研究室

室 長 栗原 正夫